

「海の生物多様性と地球環境の変化」

“Conservation of Marine Biodiversity under Global Environmental Change”

海に囲まれたわが国では、生物の宝庫である海の環境を知り、地球環境と生物多様性の関連を理解することが不可欠です。

本シンポジウムでは、最先端の生物多様性解析や地球規模で問題になっている気候変動問題について、国内外8人の研究者からご講演いただきます。

2015.11.8 (日)

10:00~18:30

- 10:00~10:05 開会挨拶 江面 浩 (筑波大学・生命環境科学研究科長)
- 10:05~10:50 海洋生物の多様性の特徴と迫りくる危機
白山 義久 (海洋研究開発機構・理事)
- 10:50~11:35 酸性化：CO₂の増加に対するアイスアルジーの応答
Dr. Andrew McMinn (タスマニア大学・教授)
- 11:35~11:50 ポスター発表案内
(11:50~12:30 休憩)
- 12:30~13:15 ポスターセッション (コアタイム)
- 13:15~14:00 沿岸域における海洋酸性化
和田 茂樹 (筑波大学・生命環境系 助教)
- 14:00~14:45 海藻-海の植物：その重要性、脆弱さ、利用性 -
Dr. Alecia Bellgrove (ティーキン大学・上級講師)
- 14:45~15:30 広域における温度偏差と温暖化に対する世界の動物相の脆弱性
Dr. Rick Stuart-Smith (タスマニア大学・研究員)
- (15:30~15:45 休憩)
- 15:45~16:30 発見の旅-沿岸域の海洋生物の生息域マッピング-
Dr. Daniel Ierodiaconou (ティーキン大学・上級講師)
- 16:30~17:15 日本周辺の重要海域特定の試み
山北 剛久 (海洋研究開発機構・研究員)
- 17:15~18:00 ビッグデータと環境変動の測定
Dr. Tony Haymet (スクリプス海洋研究所・元所長)
- 18:00~18:05 閉会挨拶 稲葉一男 (筑波大学・下田臨海実験センター長)

タイム 24 ビル

東京都江東区青海 2-4-32
タイム 24 ビル 研修室 201・202



(ゆりかもめ) テレコムセンター駅下車徒歩 2 分

同時通訳付き

(参加無料)

本シンポジウムは、参加費無料の一般公開で行います。
どなた様も是非ご参加ください。

問い合わせ先：筑波大学自然保護寄附講座事務局

E-mail : nature@heritage.tsukuba.ac.jp Tel&Fax : 029-853-7099